

2024-25 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1577 回 (3)

会 長 鹿 内 要 秀 幹 事 吉 山 聡

クラブ会長テーマ



「 奉仕によるこび、よりよい社会を築こう 」

日 時	2024 年 7 月 23 日 (火) 19:00 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル 他
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「 それでこそロータリー 」 ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



【 会 長 報 告 】

国際連合の最大の目的は、世界の平和と安全を維持することです。創設以来、国連は何回となく紛争が戦争へと拡大するのを防ぎ、紛争を解決するために武力の行使に代えて交渉のテーブルへつくよう対立する当事者を説得してきました。

ロータリーは、その設立にもかかわっています。

国際ロータリーは、1945年カリフォルニア州で開催された「国際機構に関する連合国会議」（通称「サンフランシスコ会議」）の米国代表団の顧問機関として招聘された42団体の一つでした。この会議には、世界各地から多くのロータリー会員や名誉会員が自国の代表団のメンバーや顧問として出席していました。

今もロータリーと国際連合は世界により良い持続的な変化を生み出し、国際関係の強化、生活と地域社会の改善、より平和な世界の創出につなげようと尽力しています。

国際ロータリーは現在、国際連合経済社会理事会（ECOSOC）が非政府団体に付与する最高の諮問資格を保有しています。また1991年に設立されたロータリー代表ネットワークも、国連とそのプログラム、委員会、機関との関係を維持し、さらに広げています。

さて、今日の例会はクラブフォーラムです。クラブフォーラムはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の五大奉仕の中から問題を取り上げ、その実施、推進について、全会員が討論して進路を見出そうとする会合です。また、クラブフォーラムでの活発な意見交換によってロータリーの奉仕の理念を確認し、奉仕活動での会員同士の齟齬が生じないようにするのが目的です。そこで以下のことを意識して積極的に意見を述べてください。

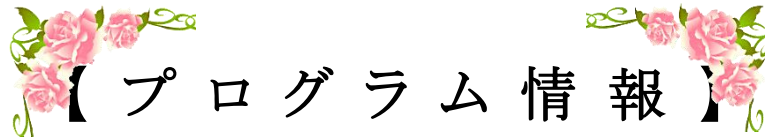
* 2024-25 福山西ロータリークラブ鹿内会長運営方針

その2 集いて図る心は一つ作戦として

クラブフォーラム参加の心得

- 自由にディスカッションに参加してください
- 注意深く聞きましょう
- 経験を自由に語り合きましょう
- 本題から離れないように注意しましょう
- 他人の意見に対して寛容に
- 自分と違った視点に対し感謝しましょう

今日のクラブフォーラムには、国連設立に立ち会った誇り高いロータリアンのような気持ちで積極的にご参加ください。



【プログラム情報】

《クラブフォーラム（五大奉仕）》

【奉仕の第一部門 クラブ奉仕】

ロータリー情報委員会・・・委員長 竹中 雅彦

定款によるとクラブ奉仕とはクラブの機能を充実させるためにクラブ内で会員が取るべき行動である。簡単にいえばクラブのために尽くしなさいということです。今年度のロータリー情報委員会としては会員のロータリーに対する理解と向上のために基礎的な知識を提供したいと考えています。

1. ロータリーの歴史

ロータリーの創立 1905年2月23日 シカゴ

創立者 ポールハリス他3名

- ポール・ハリス 弁護士
- シルベスター・シール 石炭商
- ハイラム・ショーレー 洋服生地商
- ガスターバス・ローア 鋳山技師
- 3名はポールハリスの顧客

背景

18世紀末から19世紀初頭アメリカ社会は、変動期であらゆる人種、宗教、信条、文化の坩堝であり20世紀初頭のシカゴはアルカポネに代表されるギャング社会の中心地で犯罪、汚職、暴力の巢窟で利己主義が主流となっていた。（商業道徳の欠如）

この現状を憂いた弁護士のポール P・ハリスは、公正な取引には「人間の絆」が重要と考え3人の協力者と共に経営者による団体を創立した。創立条件として以下の内容であった。

- 一業種一人の相互扶助のクラブの構想が芽生えてくる
- 商取引の相互扶助、公正で安全な取引を行いたい
- 信用・信頼がある相手と取引をしたい
- 1業種1人である方がトラブルになりにくい（クラブ内に競争相手を作らない）
- 会員同士のトラブルをなくすために会員は、「寛容で親睦と友情の精神」にあふれた人でなければならないのである。
- 相互扶助・親睦の概念

ロータリークラブの原点は

- ◎クラブ会員は信用と信頼がある人物の集まり。
- ◎職業倫理を育み学ぶために例会をする。

ロータリークラブの名称の由来

当初例会は週に1回会員の事務所で順番に行われたためロータリーと名称された。

変遷

シカゴロータリークラブ会員ドナルド・カーターが社会から受けた利益を社会に還元しようという提言からシカゴに世界で最初の公衆トイレが設置された。これがロータリーと奉仕活動が結びついた最初の事例である（社会奉仕）。全米に驚異的なスピードでロータリークラブが創立され 1912 年には 50 クラブ 6,000 人の会員数を誇り国際ロータリークラブ連合会（RI の前身）が設立された。1914 年に第 1 次世界大戦が勃発し、ヨーロッパから援助要請があり全米の各ロータリークラブは救援物資と多額の援助を実施した（国際奉仕）。今後世界で戦争や災害時にロータリーが速やかに支援できるように財政的に準備する必要があると考え各クラブに協力要請しこれがロータリー財団の芽生えとなった。

これまでにクラブに奉仕するクラブ奉仕、自分の職業を通じて社会に奉仕する職業奉仕(I serve)、クラブ単位で社会に奉仕する社会奉仕（We serve）、国際的な交流と支援を行い信頼と親睦を深める国際奉仕の四大奉仕がロータリー創立初期の段階で完成した。それから 1 世紀近く 4 大奉仕を継続していたが 2010 年に次の世代のリーダーを養成するために新世代奉仕が加わり五大奉仕となり 2013 年に新世代奉仕から青少年奉仕に改変した。

ロータリーの歴史の中で最も大きな転換期は 1989 年に女性会員を認めるようになった事です。それまではロータリークラブの会員は男性に限ると RI の定款に書かれていたのですが米国の最高裁で敗訴し、規定審議会で男性に限るという条項を削除して女性会員を認めることとなったのです。

ロータリアンとして覚えておいてください。ロータリークラブの会員は RI の会員ではありません RI の会員は福山西 RC です。我々は福山西ロータリークラブの会員です。

国際ロータリーの本部 米国イリノイ州 エバンストン

2. 例会について

①なぜ毎週例会が開催されるのか。

◎ロータリー創立当時から毎週例会が開催され職業倫理を育み学び親睦を深めるために例会をする。

◎自分の職業に対する倫理観向上と自己研鑽の場でもある。例会に毎週出席を繰り返すことで自然に研修することになる。

◎例会開始と終了の点鐘はこれから緊張して例会に臨みましょう、緊張を開放してもいいですよと知らせているのです。

◎例会中は神聖な場であるため携帯電話の使用、私語は厳禁です。スポーツ選手が試合終了時にグラウンド、コートに頭を下げて礼をして退出しますが神聖の場への敬意です。カープの栗林選手を見ているとマウンドに上がる時、試合終了後に観客に礼をするのですが、ベンチから退出するときもグラウンドに上がり礼をして退出されます例会場はそういう場なのです。

3. 例会の欠席とメイクアップ

手続要覧を見たことがありますか？会員として眼を通してください。知らなかったでは済まされないことが明記してあります。そこには RI、ロータリークラブの構成と定款が書かれています。会員に直接関係があるのはロータリークラブ定款です。出席と欠席に関する第 10 条と 13 条です。

第 10 条 出席

出席は例会の 60%に在席しないと出席にはなりません。食事だけ済ませて帰られる方がいらっしゃったらそれは欠席扱いとなります。例会の途中で中座する場合はクラブ理事会に事前に連絡する必要があります。会長あるいは幹事に連絡してください。詳しい内容は定款をみてください。

第13条 会員身分の存続

第3節 終結 会費不払い

期日後 30 日後に幹事が書面をもって督促し、10 日以内に納入されなければ理事会は会員身分を終結することができる。

第4節 欠席

- ① 出席率：会員は例会総数の出席率が 50%に達しているか、クラブのプロジェクト、行事、その他の活動に 12 時間参加しなければならない。
- ② 年度の各半期間の例会総数の内 30%に出席またはクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に参加しなければならない。理事会が正当かつ十分な理由がある（入院）と認めない限り会員身分を終結されることがある。
- ③ 連続欠席：理事会が正当な理由があると認めない限り連続 4 回例会に出席せずメイクアップをしてない場合、その欠席がクラブ会員の終結を要請していると考えることができる。理事会が本人会員に通知したあと理事会の過半数によって会員身分を終結することができる。

4. メイクアップ

禁止事項として無断欠席をしないこと、どうしても例会に出席できない場合は他クラブ例会（全国のロータリークラブで可）に出席か事務局にメイクアップを要請すると出席扱いとなりますので欠席の場合は必ずメイクアップをしてください。

私が入会した当時、メイクアップは 1 週間以内に済ませる必要があり電話でのメイクアップは無く他クラブに出席しましたが、それが 2 週間以内となり今では電話でのメイクアップが認められ年度中に済ませることが可能となりました。以前よりずいぶん緩和されましたので必ず欠席の場合は、メイクアップを済ませてください。

5. ロータリーバッジについて

徽章はその方の職業、所属、権威を表すものです。例えば国会議員バッジ、弁護士のバッジなどはそのよい例です。それらを議員、弁護士以外の方はつけることはできませんし、譲渡することもできません。もし付けていたら詐欺になる可能性があります。ロータリーバッジもそれに準ずるものです。ロータリアン以外の方が付けることは硬く禁止されています。バッジはその方の誇りを表すものです。

ロータリー創立の原点を思い出してください。ロータリーは信用があり信頼に足る人たちの集まりであり職業倫理を向上させるために集まっているのです。

それを象徴しているのがロータリーバッジなのです。

ロータリーバッジはこのような意味があるのです。

- あなたは私を信用していただいて結構です
- 私は信用に値する者です
- 私の用意は出来ています。いつでも、あなたのために奉仕できます
- 私は受ける以上のものを、あなたに与えます

ロータリーバッジは例会時、ロータリーの関連行事などに必ずつけてください。普段外出する際にも是非つけてみてください。きっと良いことがありますよ。

ロータリーの徽章



ロータリーの徽章の着用は、ロータリアンとしての権利として認められ、ロータリアンとその家族が着用する襟章に使用することが許されています。

「徽章」とは、我々が通常バッジと呼んでいるロータリーマークの襟章のことです。国際ロータリー細則で使われている「バッジ」(Badge)と云う言葉は、例会場で付ける丸い名札を指しています。ロータリーの徽章の着用は、ロータリアンの誇りを示すと同時にその責任を表しています。1993~94年度国際ロータリー会長ロバート・バース氏は、国際協議会で次のように述べています。

『ロータリアンが徽章を付けているときは次のことを意味している

- あなたは私を信用していただいて結構です
- 私は信用に値する者です
- 私の用意は出来ています。いつでも、あなたのために奉仕できます
- 私は受ける以上のものを、あなたに与えます

私は人のために奉仕します。』

最初のロータリーの徽章は、1905年(明治38年)にシカゴ・ロータリークラブ会員で、彫刻家のモンタギュー・M・ベアがデザインしたもので、馬車の車輪を形取った簡素なもので、「文明と運動」を象徴するものでした。最初の頃は多くのクラブがこれに少し手を加えたものを徽章として採用していました。

1910年に結成されたロータリー全米連合会から加盟クラブへ呼びかけて徽章の意匠を募集し、1912年の大会で金色とロイヤルブルーの歯車を正式の徽章として制定しました。その後、輻と車輪の数が変わり楔穴が付けられ、1923年(大正12年)に、6本の輻、24の歯輪および一つの楔穴のある今日の徽章が定められました。

国際ロータリー理事会は、国際ロータリアンの徽章、バッジその他の記章を、専らロータリアンだけの使用と全ロータリアンの利益のために確保し保全することを義務づけられています。国際ロータリーは、ロータリー徽章の製造・販売・使用の免許制を採用しています。またいかなる他の徽章徳見合わせて製造使用することも禁じています。

他方、国際ロータリーは、クラブやロータリアンが、国際ロータリーの徽章、バッジその他の記章を商品の商標その他商業上の目的に使用することを禁止しています。

【奉仕の第二部門 職業奉仕】

職業奉仕委員会・・・委員長 平田 恭彬

五大奉仕、第二奉仕部門の職業奉仕についてお話をさせていただきます。

前年度は多くの新会員の方が入会されましたので、職業奉仕について出来るだけ解かりやすい内容で説明してみたいと思います。

職業奉仕の目的は、事業及び専門職務の道德水準を高め、あらゆる有能な業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことといわれております。

今日のフォーラムでは、演題を、「職業奉仕が難しいと言われる訳」「むつかしくない職業奉仕」「適正な利潤とは何か」「例会出席の意義」「四つのテストに対する考え」について話を進めて参ります。

先ず「職業奉仕が難しいと言われる訳」から始めます。

職業奉仕はロータリーの根幹的な目的といわれています。

ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にあるとさえ言われています。

ところが、残念なことに、職業奉仕はわかりにくいと多くのロータリアンは言います。

では、何故わかりにくいのか？

1つは、「職業」と「奉仕」が一つの言葉になっているため理解し難くなっていると思います。

つまり、「職業」とはお金を儲ける手段であり、自分の為にすることです。

他方、「奉仕」というのは、世の為、人の為にすることで、自分以外の人の為に何かをすることです。「自分の為の職業」と「他人の為の職業」はエネルギーの方向が全く逆です。

従って、職業というものは奉仕にはならないと考えられています。

実は、ロータリークラブ以外の奉仕クラブであるライオンズクラブ、キワニス、などは、職業と奉仕とは全く別の世界に存在するもので、奉仕をしようと思えば、職業以外の方法、例えば、職業によって儲けたお金の一部を社会に寄付するとか、余った時間、労力でボランティア活動したりすることを奉仕と考え、職業そのものを奉仕と考えていないのです。

我々のロータリーとは、そこが、大きく違うところです。

ロータリーは職業を営む心、即ちお金を儲ける心と、世の為、人の為に奉仕する心とが、同じ一つの心と考えているのです。

一つの心を以て職業を営み、そして奉仕する。世の為、人の為に奉仕する心を以て倫理的に職業を営みなさいとロータリーは言っているのです。

ここが、他の団体、クラブと根本的に異なっており、「職業奉仕」という言葉が唯一、ロータリークラブだけの専門用語となっているため、一般の人にはわかりにくくなっていると思います。

しかし、ロータリアンである以上「職業奉仕」について、どうしても理解しておかなければなりません。

「むつかしくない職業奉仕」

前述の、ロータリーはロータリー以外の団体と違って職業と奉仕の心は同じ一つの心である。世の為、人の為にする心を以て倫理的に職業を営みなさいと言っていると述べました。

そのことは、定款の4条、綱領に書いてあります。一言でいうと「ロータリーは企業の根底に奉仕を置くべしとする思想を追及、提唱することを目的とするクラブ活動である」と言っております。

その為にロータリークラブは、職業分類という独特な制度によって職業分類表をつくり、分類された職域を一つでも多く充填し、より多くの職域のサービスが出来るように構成されているのと表裏一体の関

係にあるのです。このような組織を持つ団体は他にありません。

ところで、企業の根底に奉仕を置くと企業の目的は利潤、利益の追求にありますので儲けを否定することになりはしないか？とも思えますが、実は、初期のロータリーの指導的な人の奉仕（サービス）という一般的な考えは、Service Not Self（自己犠牲の奉仕、自己滅却の奉仕）という中世のキリスト教の影響を強く受けた考え方でした。

しかし、ポール・ハリスやフレデック・シェルドン等は「ロータリーは宗教ではない。自己を犠牲にしてまで、会社が倒産してまで奉仕（サービス）に徹しなさいというのは、宗教の世界である。我々は実業倫理の世界に入らなくてはならない。

そのためには自己を否定するのではなく、自己の存在を前提として Service above Self（超我の奉仕、サービス第一、自己第二）でなければならないと考え、1910年ごろからこのような考えが広まり主流を占めるようになりました。

そしてロータリーは、企業の根底に儲けがあることを認めたいと、その儲けとは一体何かということを考える訳です。ここが大変肝心なところであります。

人間はみな自己のために利益を得ようとする欲望と、一方では他人の為に尽くさなければならないという義務感があって、両者の心の中で常に葛藤を繰り返しています。

この争い、つまり「利己と利他の調和」をさせようという人生哲学がロータリーなのです。

ロータリー運動が職業人の倫理向上運動と言われる由縁であり、職業奉仕において高度な倫理が求められる訳であります。

それでは、儲けてよい利益、即ちロータリーでいう「適正な利益」とはなにか？についてお話を進めます。

「適正な利潤とは何か」

職業奉仕がロータリーの根本理念といたしました。それは、ロータリーがロータリアンの奉仕の心を受け、奉仕の心を育てさせる倫理を提唱していく団体であることと深く関係があります。

ロータリーでいう職業奉仕の真の意味は、「適正な利潤」を得て、自分の職業を通じてサービスを施し、社会のために尽くすことです。

企業は利益がなければ成り立ちません。しかし利益には自ら限界があります。

例えば、企業がある商品を100円で仕入れて10万円で売ったとします。

売れる、売れないは別として売れたとします。そのような膨大な利益は、ロータリー的な利益とは言えません。適正な利益を超えているからです。

適正な利益を超えると相手方であるお客様は、大変な損をすることになり不幸になってしまいます。

これは、我々がいつも唱和している四つのテストの「みんなに公平か」に反してしまいます。

ロータリーは企業とお客様の両当事者を利するものでなければならない、つまり「利己と利他の調和」を追及するところであり、ロータリーの目的、方針はこのことをいうのです。

常に、この調和を求めていくと一つの取引を通じて目に見える商品と代金の交換の中で双方に目に見えない感謝と満足感が生まれ、それが信用となり企業は繁栄します。

要するに、企業経営は利潤の追求ですが、儲けの中で儲けてもよい利潤（適正な利潤）の追求をロータリーは目的としています。

各企業の業務内容や目的、慣例等によって適正かどうかの判断は異なり、一概に決まることは非常に難しいと思いますが、参考例として、豊中北 RC の笹部政雄元職業委員長の話を紹介させていただきます。今日、世界経済の上で支配的な実力を持っているのはユダヤの民族ですが、ユダヤ商法を支えているの

は宇宙の法則だと言われています。

この法則に「78：22」というのがあります。例えば正方形の面積を100とするならば、この内接にする円の面積は78。そして、四隅に残った面積の和は22になる。

また、空気中の成分は窒素78，酸素22の割合になっています。人間の体は水分が78でその他の物質が22の割合でできているという。

これは大自然の宇宙の法則であってユダヤ人の法則はこの法則の上に成り立っているといえます。

企業経営も、原価が78，利益22にすればユダヤの法則に合致するわけです。

この法則に従うとすれば、職業奉仕というものは、もちろん、原価78の中でいろいろ行われるべきであります。78の全体が一つの固まりであり、そこが職業奉仕の分野です。

「例会出席の意義」

我々はどのようにして毎週一回例会に出席しなければならないのでしょうか。職業奉仕とも関係がありますので、例会出席について述べます。

ロータリーが単なる寄付団体、慈善団体、ボランティア団体ならば、毎週例会に出席する必要はないでしょう。月に一回でも、二ヶ月に一回でも、極端に言えば一度も例会に出なくても寄付さえしておけばいいかもしれません。

しかし、これまで述べてきたように、ロータリー運動は倫理運動であり人の心を重視する優れた精神的奉仕を目的として追求する団体ですから、倫理を提唱していく為には、先ず、ロータリアン自身が心を磨かなければなりません。

毎週一回例会へ出席して親睦を重ね、他のロータリアンの良質な言動に接して自己改善を重ね、奉仕の心を醸成しそれを実践するよう自己研鑽するところが例会であります。

米山梅吉さんが「ロータリーの例会は人生の道場である」と述べられる由縁です。

親睦は最も大事なことです。ただ最近残念に思うことは、親睦だけに終わり、単なる「仲良しクラブ」となっている傾向です。

楽しい親睦の中に自己改善の要素と社会改良のエネルギーを持っているのが「ロータリーの親睦」であります。

「四つのテストに対する考え」

「四つのテスト」

言行はこれに照らして

- (1) 真実かどうか
- (2) みんなに公平か
- (3) 好意と友情を深めるか
- (4) みんなのためになるかどうか

ご存じのように、これが四つのテストです。

四つのテストは、(1)と(2)～(4)の2つに分析することが出来ると言われています。(1)は言動そのもの内容に関するものであり、(2)～(4)は言動が述べられるべき状況に関する準則を示していると言われています。

つまり、ロータリアンの言動はどんな場合でも(1)の真実でなければならない。そして、実行・言動に関しては、(2)～(4)の準則に照らした上でなされなければならないということでしょう。

職業奉仕に関しては、その後、RIは、1987～1988年度に職業奉仕に関する声明を出しました。その前文に、職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくことを、ロータリーが育成、支援する方法である。と書いてあります。

いずれも優れた職業奉仕の理念が掲げられており、これを実行したハーバート・テラーや先達ロータリアンが試してきた奉仕の実践は誠に立派だったと思います。

ただ、四つのテストにしろ、いろんな職業宣言にしろ、何が何でも常に厳格に適用しなければならないということではなく、場合によっては適用しないことが良いケースもあると思います。例えば、不治の病と言われていたガン患者から「私はガンではないですか」と尋ねられた時、医師はどう答えたらよいのか。このような場合は、四つのテストに反してウソを言う事もあると思います。

わが国には昔から〈ウソも方便〉という言葉があります。このように考えると「四つのテスト」よりも日本古来の常識の方が適切です。

但し、我々は、〈ウソも方便〉と言って、ウソをついた良心の呵責を逃れようとする傾向があります。ウソはどこまでもウソであり、〈ウソも方便〉という場合のウソはその相手に対する温情と慈悲がその底にあるものでなければならない事を忘れてはならないと思います。

四つのテストの(2)～(4)の準則に照らしながら、その時の状況に応じて、社会通念に従って判断し言動することが必要ではないでしょうか。

【奉仕の第三部門 社会奉仕】

社会奉仕委員会・・・委員長 能登 伸一

今年度社会奉仕委員会で終了する行事

賛否意見が分かれることと承知しております。反映できることがあれば検討したいと思いますのでご意見を宜しくお願い致します。

○「奉仕の森」の活動

2025年3月25日に修了式を予定しています。“グリーンラインを愛する会”の丸山理事長をお招きして、これまでの歴史と今後「奉仕の森」への清掃をして頂くことを確認したうえで今後は個人的な支援の呼びかけをされる予定。

○「資源回収」

今年度、資源回収は行いません。一番の理由は費用対効果が見込まれないことです。補助金を頂く奉仕活動は本質的に意味がないと思われます。すでに資源回収を想定されていると資源を保管されている会員さんには誠に申し訳ありません。

新たに行う予定行事

○「世界バラ会議福山大会」への参画、支援

- ・展示会で使用する花瓶を贈呈する。35周年行事の一環として50万円の予算を頂きました。
- ・松永駅前にバラを植栽（松永RCさんと合同11月10日）

7月22日、世界バラ会議福山大会情報共有会議に出席したところ概略が把握できました。展示会は世界バラ会議福山大会のスケジュールには組み込まれていない。世界バラ会議福山大会のスケジュールにはバラの視察ツアーが他の場所であるのにそのことを市役所（推進室）からはお知らせがありませんでした。

今一度、福山西ロータリークラブの世界バラ会議福山大会への支援に対する意図をしっかりと伝える必要があると考えていて、本日（7/24）に推進室の責任者に面談依頼を申し入れたところです。

【奉仕の第四部門 国際奉仕】

国際奉仕委員会・・・委員長 梶原 啓子

1. 国際奉仕活動につながる RC 年間行事を拾って見ると

- 7月 母子の健康月間
- 9月 基本的教育と識字率向上月間
- 12月 疾病予防と治療月間
- 2月 平和と紛争予防、紛争解決月間
- 3月 水と衛生月間
- 4月 環境月間

このように、国際奉仕活動として取り組むことは枚挙にいとまがないと思います。そんな中で何を優先して当年度の国際奉仕活動をしていくかと考えた時、奉仕の内容が身の丈にあったものであること、支援先が社会的に認められていること、そして私たちが支援したことにより被支援者が人間的により良い環境と生活につながるのだと思います。

2. 今年度活動の事業内容

- A. 2月開催予定の「外国人留学生を支援する会」が主催するスピーチコンテストを例会変更により多くの会員参加のもと支援し、コンテスト上位入賞者は例会に招待して卓話をしていただきます。
- B. 「外国人留学生を支援する会」と共同で、(株) プレヒまわり協力により生活支援を実施いたします。
- C. カンボジア児童養護施設「スナーダイ・クマエ」を2月に訪問し(5月に予定していましたが、周年行事との関係で変更) 支援と交流をはかります。それまでに施設の修理費として支援金を送金し、訪問時に完成した状況を確認したいと思っています。
カンボジア訪問もできるだけ多くの方に参加していただきたいので、国際奉仕委員会の方はもちろん、皆様からの参加したくなる旅行企画提案をよろしく願いいたします。
- D. 9月13日から15日に神戸の甲南大学内甲友会館で開催されるカンボジア児童養護施設「スナーダイ・クマエ」絵画展への訪問と絵画、グッズの購入。参加者をどう確保するかは検討中。
できれば親睦行事や西友会行事に絡ませられれば大きな支援になるのではと思っています。

3. 創立35周年記念事業について

カンボジア児童養護施設「スナーダイ・クマエ」支援については施設修理のための材料費として30万円、支援金として10万円予算をとっていただきました。周年行事の一環としてカンボジア訪問も計画しております。

今回の選択の一番は日本語でやり取りできることと現地を訪れて現状がしっかり把握できたことです。その上メアス博子さんは母親以上の愛情で25年以上カンボジアの孤児や家庭に恵まれない子供、DV やドラッグにより家庭崩壊した子供たちにかかわっておられます。そしてその子どもたちの将来を見据えて、NPO 法人活動の資金集めに日夜尽力されています。因みに国や自治体からの支援は一切ないそうです。

素晴らしい方に出会えたことに感謝しています。皆様もご理解の程、宜しく願いいたします。

【奉仕の第五部門 青少年奉仕】

青少年奉仕委員会・・・委員長 菊池 愛

- ・活動方針 「奉仕に喜び、よりよい社会を築こう」のテーマに沿って企画し活動する。
- ・中学校吹奏楽祭りの詳細を説明。
- ・RYLAに参加する。
- ・鷹取中学校へテント寄贈。時期は10月11月頃。
- ・中学校吹奏楽祭りの件を中国新聞に取材依頼を行う。



【その他報告】



特にありません。

【クラブ活動報告】

特にありません。

